

令和8年度 福知山公立大学 入学者選拔要項

(一般選抜・学校推薦型選抜・総合型選抜)

出願に際しては、各選抜区分の学生募集要項を
必ず確認してください。



福知山公立大学

The University of Fukuchiyama

地域経営学部 地域経営学科／情報学部 情報学科

学生募集要項について

本選抜要項には、令和8年度福知山公立大学入学者選抜（一般選抜・学校推薦型選抜・総合型選抜）に関する基本的な事項についてのみ記載しています。今後、変更が生じる可能性もありますので、出願に際しては各選抜区分の学生募集要項を必ず確認してください。また、私費外国人留学生選抜・社会人選抜・編入学選抜については、本選抜要項に掲載しておりませんので、各選抜区分の学生募集要項を必ず確認してください。

各選抜区分の学生募集要項の公表予定は以下のとおりです。

選抜区分	公表時期(予定)	公表方法
一般選抜・学校推薦型選抜	8月下旬	ホームページ・冊子
総合型選抜	7月上旬	ホームページ
私費外国人留学生選抜	8月下旬	ホームページ
編入学・社会人選抜 (地域経営学部)	7月中旬	ホームページ
編入学選抜 (情報学部)	公表中	ホームページ

令和8年度福知山公立大学学生募集要項（一般選抜・学校推薦型選抜）のみ冊子を発行します。冊子については、本学ホームページからテレメールを利用し請求してください。請求は、本学の入学案内（大学案内）と学生募集要項のセットとなります（無料）。以下のQRコードから請求してください。

募集要項請求



Web出願について

出願に際しては、Web出願サイトでの登録が必要です。Web出願の流れは、各選抜区分の学生募集要項を確認してください。

令和8年度福知山公立大学入学者選抜の主な変更点

1 募集定員の変更

地域経営学部 地域経営学科 75名→100名 ※医療福祉経営学科は学生募集停止
情報学部 情報学科 100名→120名

2 総合型選抜の実施

地域経営学部及び情報学部で総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）、情報学部のみ総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）も実施します。

3 一般選抜前期日程 個別学力検査は選択制に（情報学部のみ）

情報学部一般選抜前期日程（6教科型及び4教科型）において、個別学力検査では小論文試験と教科（数学）試験のいずれかを選択できるようになります。教科（数学）試験のサンプル問題は本学ホームページに公表しています。

サンプル問題公表



令和8年度

福知山公立大学 入学者選抜要項

-目次-

基本理念／アドミSSION・ポリシー	3
令和8年度 選抜概要	5
出願資格／受験上の配慮	6
地域経営学部	
一般選抜 前期日程（6教科型）	7
一般選抜 前期日程（3教科型）	9
一般選抜 後期日程	11
学校推薦型選抜	13
総合型選抜Ⅰ	15
情報学部	
一般選抜 前期日程（6教科型）	17
一般選抜 前期日程（4教科型）	19
一般選抜 後期日程	21
学校推薦型選抜	23
総合型選抜Ⅰ	25
総合型選抜Ⅱ	27
令和7年度 入試実施状況	
①志願者数・受験者数・合格者数・入学者数	29
②一般選抜合格者の最高点・最低点・平均点・得点率	30
③地区別（都道府県）志願・入学状況	31
④地域経営学部 志願者出身高等学校一覧	32
⑤情報学部 志願者出身高等学校一覧	33
⑥小論文試験の全体講評	34
⑦地域経営学部 学校推薦型選抜 小論文試験問題	35
⑧地域経営学部 一般選抜前期日程 小論文試験問題	36
⑨情報学部 学校推薦型選抜 小論文試験問題	37
⑩情報学部 一般選抜前期日程 小論文試験問題	37

基本理念

市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学

アドミッション・ポリシー

福知山公立大学は、大学全体及び各学部の入学者受入れの方針を以下のように定めています。

福知山公立大学

福知山公立大学は、地域社会について関心を持ち、地域社会の発展に貢献する意欲や地域社会と協働する意欲を持ち、主体的に学び考える力のある者、またはその可能性がある者と判断できる者を受け入れる。このため、幅広い教科・科目における基礎的な学力を有することを望む。また、社会と情報の関わりを学ぶ意欲や社会の課題について考え表現する力を有することを望む。

地域経営学部

地域経営学部地域経営学科は、地域社会に貢献する意思をもつ多様な入学者を受け入れるため、「学力の3要素」に基づいて、幅広い基礎的・基本的な知識・技能（以下「知識・技能」と表記する）、知識・技能を活用できる思考力・判断力（以下「思考力・判断力」と表記する）ならびに自らの思考や判断を他者に伝える表現力（以下「表現力」と表記する）とともに地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度（以下「協働する態度」と表記する）を適切に評価することで、入学者の選抜を行う。

このため、大学入学までに、幅広い教養と基礎学力を身につけていることを求める。そのため、特定の教科に偏ることなく学習し、すべての教科における基礎的な学力を身につけることを望む。また、社会と情報の関わりに関心を持ち、客観的に資料や文章を読む力やその理解を表す力などの基本的なコミュニケーション能力の習得も望む。

すべての選抜において「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」「協働する態度」を多面的・総合的に評価する。評価においては、大学入学共通テスト、個別学力検査、志願者本人が提出する資料、調査書、面接、小論文、プレゼンテーション等を各々の選抜が重視する要素に従い、適切に組み合わせて利用する。一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜のそれぞれにおいて重視する学力の要素は、下記の表に示す通りである。

学力の3要素		知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度
一般選抜 前期	大学入学共通テスト	○	○		
	個別学力検査	○	○	○	
	調査書	○			○
一般選抜 後期	大学入学共通テスト	○	○		
	個別学力検査	○	○	○	
	調査書	○			○
学校推薦型 選抜	出願書類 (調査書・推薦書・自己アピール書)	○			○
	面接		○	○	○
	小論文	○	○	○	
総合型選抜 Ⅰ	出願書類 (調査書・自己推薦書)	○	○		○
	面接		○		○
	プレゼンテーション	○	○		

他の入学者選抜については、別途定める。

情報学部

情報学部情報学科は、地域社会に貢献する意思をもつ多様な入学者を受け入れるため、「学力の3要素」に基づいて、数学や情報学の基礎的・基本的な知識・技能（以下「知識・技能」と表記する）、幅広い知識・技能を活用できる思考力・判断力（以下「思考力・判断力」と表記する）ならびに自らの思考や判断を他者に伝える表現力（以下「表現力」と表記する）とともに地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度（以下「協働する態度」と表記する）を適切に評価することで、入学者の選抜を行う。

このため、大学入学までに、数学を中心にしつつ、各教科においてもしっかりした基礎的な学力を身につけることを望む。また、社会に貢献する情報技術のあり方について、自ら思考できる力と、その内容を表現し他者と共有できる力を身につけるための経験を積むことを望む。

すべての選抜において「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」「協働する態度」を多面的・総合的に評価する。評価においては、大学入学共通テスト、個別学力検査、志願者本人が提出する資料、調査書、面接、小論文等を各々の選抜が重視する要素に従い、適切に組み合わせて利用する。一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜のそれぞれにおいて重視する学力の要素は、下記の表に示す通りである。

学力の3要素		知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度
一般選抜 前期	大学入学共通テスト	○	○		
	個別学力検査	○	○	○	
	調査書	○			○
一般選抜 後期	大学入学共通テスト	○	○		
	個別学力検査	○	○	○	
	調査書	○			○
学校推薦型 選抜	出願書類 (調査書・推薦書・自己アピール書)	○			○
	面接		○	○	○
	小論文	○	○	○	
総合型選抜 Ⅰ	出願書類 (調査書・自己推薦書)	○		○	○
	面接		○	○	○
	小論文	○	○	○	
総合型選抜 Ⅱ	出願書類 (調査書・自己推薦書)	○		○	○
	面接		○	○	○
	大学入学共通テスト	○	○		

他の入学者選抜については、別途定める。

令和8年度 選抜概要

1 学部・学科・入学定員

学部・学科	地域経営学部 地域経営学科	情報学部 情報学科	合計
入学定員	100名	120名	220名

2 選抜日程

地域経営学部

選抜区分		募集人員	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	入学手続期間
一般選抜	前期日程	6教科型 34名	1/26(月)～ 2/4(水) 消印有効	2/25(水)	本学 大阪	3/8(日)	3/8(日)～ 3/15(日)必着
		3教科型 15名					
	後期日程	10名		3/12(木)	本学	3/21(土)	3/21(土)～ 3/27(金)必着
学校推薦型選抜		全国枠20名	11/1(土)～ 11/6(木) 消印有効	11/15(土)	本学	12/2(火)	12/2(火)～ 12/9(火)必着
		地域枠12名					
		専門学科枠3名					
総合型選抜Ⅰ		6名	9/1(月)～ 9/8(月) 消印有効	10/11(土)	本学	第1次選考 9/25(木) 11/1(土)	11/1(土)～ 11/10(月)必着

情報学部

選抜区分		募集人員	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	入学手続期間
一般選抜	前期日程	6教科型 45名	1/26(月)～ 2/4(水) 消印有効	2/25(水)	本学 大阪	3/8(日)	3/8(日)～ 3/15(日)必着
		4教科型 20名					
	後期日程	10名		3/12(木)	本学	3/21(土)	3/21(土)～ 3/27(金)必着
学校推薦型選抜		全国枠20名	11/1(土)～ 11/6(木) 消印有効	11/16(日)	本学	12/2(火)	12/2(火)～ 12/9(火)必着
		地域枠10名					
		専門学科枠5名					
総合型選抜	Ⅰ	5名	9/1(月)～ 9/8(月) 消印有効	10/12(日) 予備日:10/13(月・祝)	本学	11/1(土)	11/1(土)～ 11/10(月)必着
	Ⅱ	5名				2/11(水)	2/11(水)～ 2/17(火)必着

- 一般選抜は、「分離・分割方式（前期日程・後期日程）」で実施します。
- 一般選抜前期日程は、地域経営学部（6教科型と3教科型）、情報学部（6教科型と4教科型）からいずれか1つを選択してください。
- 本学は基本理念に基づき、北近畿地域における高等教育機関への進学機会を提供することを目的として、学校推薦型選抜で「地域枠」（「全国枠」としての選抜対象にもなる）を設定しています。また、多様な学生を受け入れることを目的として「専門学科枠」を設定しています。
- 両学部の総合型選抜Ⅰは大学入学共通テストを課しません。情報学部の総合型選抜Ⅱは大学入学共通テストを課す選抜です。
- 地域経営学部の総合型選抜Ⅰの第1次選考は、志願者数が募集人員の概ね3倍を超えた場合に実施します。実施の有無は、9/12（金）に本学のホームページに公表します。
- 情報学部の総合型選抜Ⅰ及びⅡは、志願者数によって2日間（10/12、13）の実施とする場合があります。ただし、2日間の実施となった場合も選抜区分ごとにいずれか1日で実施します。日程変更がある場合は、事前に本学ホームページ等でお知らせします。
- 総合型選抜ⅠとⅡは併願することができません。



出願資格

1 学校推薦型選抜（両学部）

各選抜ページで確認してください。

2 一般選抜 前期日程・後期日程及び総合型選抜（両学部）

次の（１）～（３）のいずれかに該当する者。

- （１）高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び令和８年３月卒業見込みの者
- （２）通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び令和８年３月修了見込みの者
- （３）学校教育法施行規則第１５０条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和８年３月３１日までにこれに該当する見込みの者で、次の（ア）～（カ）のいずれかに該当する者
 - （ア）外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者及び令和８年３月３１日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - （イ）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和８年３月３１日までに修了見込みの者
 - （ウ）専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和８年３月３１日までに修了見込みの者
 - （エ）文部科学大臣の指定した者
 - （オ）高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和８年３月３１日までに合格見込みの者で、令和８年３月３１日までに１８歳に達する者
 - （カ）その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和８年３月３１日までに１８歳に達する者

※出願審査について

上記（３）の（カ）資格で出願する場合は、事前に出願資格審査を行います。出願開始日の１か月前までに入試係へお問い合わせください。

受験上の配慮について

障害や疾病等で受験上特別な配慮を希望する志願者については、その配慮内容について本学と事前相談を行うことにしています。出願を予定している選抜区分の出願開始日の２週間程度前までに、入試係まで連絡の上、次の書類を送付してください。

（電話 0773-24-7100／メール admission@fukuchiyama.ac.jp）

- （１）受験上の配慮申請書（本学所定の様式）

※ホームページからダウンロードしてください。

- （２）障害や疾病等の種類・程度が分かる書類

状況を説明する書類、医師の診断書の写し、障害者手帳の写し等

受験上の配慮申請書



地域経営学部 一般選抜 前期日程(6教科型)

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月26日(月)～ 2月4日(水) 消印有効	2月25日(水)	3月8日(日)	3月8日(日)～ 3月15日(日) 必着

2 募集人員

地域経営学科 34名

3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者。

4 出願書類

Web出願・出願書類

(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2) 調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替様式（本学所定の様式による）を提出してください。調査書代替様式は本学ホームページからダウンロードしてください。



5 選抜方法等

一般選抜では、本学のアドミッション・ポリシーに基づいて入学志願者の能力・意欲・適性等を大学入学共通テスト、個別学力検査を中心に多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (6教科6科目)	高等学校等において履修する科目より習得した基礎学力、地域経営学部で学ぶ上で必要な思考力・判断力を評価する。	1200点
個別学力検査 (小論文)	現代社会の課題についての資料〔文章（英文を含む）や図表等〕を基にした出題より、文章や図表等を理解するために必要な知識・技能と、分析し考察する思考力・判断力、自らの考えをわかりやすく伝える表現力を評価する。	300点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を合否判定資料として使用する。調査書は、高等学校等において履修する科目より習得した知識・技能及び高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度 ^(※)
大学入学共通テスト (6教科6科目)	○	○		
個別学力検査 (小論文)	○	○	○	
調査書	○			○

(※)地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（6教科6科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	200点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	200点
数学	「数学Ⅰ，数学A」 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 } から1	200点
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」 } から1	200点
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	200点
情報	「情報Ⅰ」	200点
合計		1200点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱いいます。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・各教科で指定した科目群の中から複数の科目を受験した場合は、高得点のいずれか1科目の成績を採用します。地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合もいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱いいます。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場又は大阪会場で受験できます。Web出願登録時に第一希望試験会場を選択してください。出願後の第一希望試験会場の変更はできませんのでご注意ください。なお、大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、本学会場での受験となる可能性があります。受験票記載の試験会場を必ず確認してください。

- 1 本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）
- 2 大阪会場（難波御堂筋ホール 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング）

地域経営学部 一般選抜 前期日程(3教科型)

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月26日(月)～ 2月4日(水) 消印有効	2月25日(水)	3月8日(日)	3月8日(日)～ 3月15日(日) 必着

2 募集人員

地域経営学科 15名

3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者。

4 出願書類

Web出願・出願書類

(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2) 調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替様式（本学所定の様式による）を提出してください。調査書代替様式は本学ホームページからダウンロードしてください。



5 選抜方法等

一般選抜では、本学のアドミッション・ポリシーに基づいて入学志願者の能力・意欲・適性等を大学入学共通テスト、個別学力検査を中心に多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (3教科3科目)	高等学校等において履修する科目より習得した基礎学力、地域経営学部で学ぶ上で必要な思考力・判断力を評価する。	600点
個別学力検査 (小論文)	現代社会の課題についての資料〔文章（英文を含む）や図表等〕を基にした出題より、文章や図表等を理解するために必要な知識・技能と、分析し考察する思考力・判断力、自らの考えをわかりやすく伝える表現力を評価する。	300点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を合否判定資料として使用する。調査書は、高等学校等において履修する科目より習得した知識・技能及び高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度 ^(※)
大学入学共通テスト (3教科3科目)	○	○		
個別学力検査 (小論文)	○	○	○	
調査書	○			○

(※)地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（3教科3科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	高得点 3教科 200点 200点 200点 600点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	
数学	「数学Ⅰ，数学A」 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 } から1	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」 } から1	
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	
情報	「情報Ⅰ」	
合計		

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・各教科で指定した科目群の中から複数の科目を受験した場合は、高得点のいずれか1科目の成績を採用します。地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合もいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場又は大阪会場で受験できます。Web出願登録時に第一希望試験会場を選択してください。出願後の第一希望試験会場の変更はできませんのでご注意ください。なお、大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、本学会場での受験となる可能性があります。受験票記載の試験会場を必ず確認してください。

- 1 本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）
- 2 大阪会場（難波御堂筋ホール 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング）

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月26日(月)～ 2月4日(水) 消印有効	3月12日(木)	3月21日(土)	3月21日(土)～ 3月27日(金) 必着

2 募集人員

地域経営学科 10名

3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者。

4 出願書類

Web出願・出願書類

(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2) 調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替様式（本学所定の様式による）を提出してください。調査書代替様式は本学ホームページからダウンロードしてください。



5 選抜方法等

一般選抜では、本学のアドミッション・ポリシーに基づいて入学志願者の能力・意欲・適性等を大学入学共通テスト、個別学力検査を中心に多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (4教科4科目)	高等学校等において履修する科目より習得した基礎学力、地域経営学部で学ぶ上で必要な思考力・判断力を評価する。	800点
個別学力検査 (小論文)	現代社会の課題についての資料〔文章（英文を含む）や図表等〕を基にした出題より、文章や図表等を理解するために必要な知識・技能と、分析し考察する思考力・判断力、自らの考えをわかりやすく伝える表現力を評価する。	200点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を合否判定資料として使用する。調査書は、高等学校等において履修する科目より習得した知識・技能及び高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度 ^(※)
大学入学共通テスト (4教科4科目)	○	○		
個別学力検査 (小論文)	○	○	○	
調査書	○			○

(※)地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（4教科4科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	高得点 4教科 200点 200点 200点 200点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	
数学	「数学Ⅰ，数学A」 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 } から1	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」 } から1	
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	
情報	「情報Ⅰ」	
合計		

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・各教科で指定した科目群の中から複数の科目を受験した場合は、高得点のいずれか1科目の成績を採用します。地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合もいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
11月1日(土)～ 11月6日(木) 消印有効	11月15日(土)	12月2日(火)	12月2日(火)～ 12月9日(火) 必着

2 募集人員

地域経営学科 全国枠20名、地域枠12名、専門学科枠3名

※本学は基本理念に基づき、北近畿地域における高等教育機関への進学機会を提供することを目的として、学校推薦型選抜において「地域枠」（「全国枠」としての選抜対象にもなる）を設定しています。また、多様な学生を受け入れることを目的として「専門学科枠」を設定しています。

3 出願資格

1つの高等学校から推薦できる人数に上限はありません。

各枠の出願資格を有する場合は、いずれかの枠を選んで出願することができます。併願不可。

【全国枠】

次の(1)～(4)の全てを満たす者。

- (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者(単位制高等学校等で令和7年度の途中に卒業する者を含む。
なお、過年度生等の出願は不可とする)
- (2)合格した場合は入学することを確約できる者
- (3)コミュニケーション能力が優れていると学校長が推薦する者
- (4)全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.8以上の者

【地域枠】

全国枠の出願資格(1)～(4)を全て満たし、かつ次の市町に所在する高等学校の生徒。

- ・京都府：京都市右京区（ただし旧京北町に限る）、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、京丹波町、伊根町、与謝野町
- ・兵庫県：豊岡市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、香美町、新温泉町

【専門学科枠】

全国枠の出願資格(1)～(4)を全て満たし、かつ以下の(ア)(イ)を満たす者。

- (ア)普通科、理数科等以外の専門教育を主とする学科及び総合学科出身の者
- (イ)次のいずれかの資格を取得している者

- ・日本商工会議所主催 簿記検定試験2級以上
- ・全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定試験1級
- ・独立行政法人情報処理推進機構主催の情報処理技術者試験のいずれかの試験区分（ITパスポート試験を含む）

4 出願書類

- (1)志願票
 - (2)調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）
 - (3)学校長推薦書（本学所定の様式により厳封したもの）
 - (4)自己アピール書（本学所定の様式による）
 - (5)専門学科枠で出願する者は(イ)を証明するもの（複写可）
- ※（1）はWeb出願サイトに登録し、印刷してください。
- ※（3）（4）は本学ホームページからダウンロードしてください。

Web出願・出願書類



5 選抜方法等

学校推薦型選抜では、本学のアドミッション・ポリシーに基づいて入学志願者の知識・技能、思考力・判断力、表現力等を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
出願書類 (調査書、学校長推薦書、自己アピール書)	高等学校等において履修する科目より習得した知識・技能と、自らの経験や活動で得た主体性や協働する態度を評価する。	100点
面接 (個別)	社会と情報の関わりや地域社会が抱える諸問題に関心を寄せ、その現状や対応状況について理解し考察できる思考力・判断力と、コミュニケーションにおいて発言の意図を理解し、それに応じてわかりやすく考えを伝える表現力を評価する。また、さらに本学の地域協働型教育において地域社会が抱える問題に向き合い貢献しようとする意欲を持ち、地域社会において多様な人々と主体性を持ち協働する態度を評価する。	
小論文	現代社会の課題についての資料〔文章（英文を含む）や図表等〕を基にした出題より、文章や図表等を理解するために必要な知識・技能と、分析し考察する思考力・判断力、自らの考えをわかりやすく伝える表現力を評価する。	100点

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度 ^(※)
出願書類 (調査書、学校長推薦書、自己アピール書)	○			○
面接		○	○	○
小論文	○	○	○	

(※)地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分	11時30分～12時45分	12時45分	13時00分～
入室可能時間	指定席に着席	小論文	休憩	指定席に着席	面接

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・面接試験は、12時45分までに指定席に着席をしていない場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
9月1日(月)～ 9月8日(月) 消印有効	10月11日(土)	第1次選考 9月25日(木)	11月1日(土)～ 11月10日(月) 必着
		11月1日(土)	

2 募集人員

地域経営学科 6名

3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、合格した場合は入学することを確約できる者。

※過年度生等の出願は可とする。

4 出願書類

(1)志願票

(2)調査書(出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替様式(本学所定の様式による)を提出してください。

(3)自己推薦書(本学所定の様式による)

※(1)はWeb出願サイトに登録し、印刷してください。

※(2)調査書代替様式及び(3)は本学ホームページからダウンロードしてください。

Web出願・出願書類



5 選抜方法等

総合型選抜では、本学のアドミッション・ポリシーに基づいて入学志願者が自ら表現する能力・適性、学習意欲、目的意識等を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
出願書類 (調査書、自己推薦書)	高等学校等において履修する科目より習得した知識・技能と、能力や適性を適切に伝えるための表現力、自らの経験や活動で得た主体性や協働する態度を評価する。	100点
面接 (個別)	社会と情報の関わりや地域社会が抱える諸問題に関心を寄せ、その現状や対応状況について理解し考察できる思考力・判断力と、コミュニケーションにおいて発言の意図を理解し、それに応じてわかりやすく考えを伝える表現力を評価する。また、さらに本学の地域協働型教育において地域社会が抱える問題に向き合い貢献しようとする意欲を持ち、地域社会において多様な人々と主体性を持ち協働する態度を評価する。	100点
プレゼンテーション (個別)	現代社会の諸問題を理解するための基礎的な知識・技能、与えられた資料を読み解き、経験や知識と関連付けて問題を設定し、多様な解決のアイデアを考え最も有効な提案にまとめ上げる思考力・判断力を評価する。また、その提案を他者にわかりやすく伝え、説得的なコミュニケーションを行う表現力を重視する。	100点

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	協働する態度 ^(※)
出願書類 (調査書、自己推薦書)	○	○	○
面接		○	○
プレゼンテーション	○	○	

(※)地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度

- ・第1次選考は、志願者数が募集人員の概ね3倍を超えた場合に実施します。実施の有無は、9月12日（金）に本学のホームページに公表します。
- ・第1次選考は出願書類により、総合的に判定します。
- ・プレゼンテーションの課題は当日提示します。本学から提供する地域社会に関する資料を基に、プレゼンテーション発表のための資料を作成してください。発表方法は、本学で準備した用紙と筆記用具でプレゼンテーション資料を作成し、口頭で発表してください。

6 試験時間割

9時00分	10時00分	10時30分～ 12時00分	12時00分～ 12時45分	12時45分	13時00分～	
入室 可能時間	指定席に 着席	プレゼンテーション 準備	休憩	指定席に 着席	プレゼンテーション 発表・質疑応答	面接

- ・受付は行いませんので、10時00分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- ・プレゼンテーション準備は、開始時間から30分までの遅刻に限り出席を認めます。30分以上遅刻した場合は出席を認めません。なお、プレゼンテーション準備に出席しなかった場合は、午後からのプレゼンテーション発表・質疑応答を受験することができません。
- ・プレゼンテーション発表・質疑応答は、12時45分までに指定席に着席をしていない場合も受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

8 留意事項

総合型選抜Ⅰにおいて不合格となった場合は、本学及び他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜、一般選抜及び総合型選抜（本学の総合型選抜Ⅱを除く。）に出願することができます。ただし、出願に際しては、志望する大学・学部等の各選抜区分の出願資格を満たしたうえで、新たに出願登録及び検定料納入することが必要となります。

情報学部 一般選抜 前期日程(6教科型)

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月26日(月)～ 2月4日(水) 消印有効	2月25日(水)	3月8日(日)	3月8日(日)～ 3月15日(日) 必着

2 募集人員

情報学科 45名

3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者。

4 出願書類

(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2) 調査書(出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替様式(本学所定の様式による)を提出してください。調査書代替様式は本学ホームページからダウンロードしてください。

Web出願・出願書類



5 選抜方法等

一般選抜では本学のアドミッション・ポリシーに基づいて、学力の3要素に対応する「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」と、学習する態度としての「協働する態度」を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (6教科7科目)	大学入学共通テストにより、高等学校全般的な学習を前提とした基礎学力及び情報学部で学ぶうえで必要な思考力・判断力を評価する。	1200点
個別学力検査 (小論文又は数学) 数学の出題範囲： 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C	小論文又は数学のいずれかを選択し、評価を行う。 小論文の個別学力検査では、社会と情報技術の関係に関する出題を通じて、関連する知識を理解し、その知識を効果的に活用する思考力を評価する。また、さらに自分自身の考えを適切に表現する力も重視する。 数学の個別学力検査では、情報学を学ぶための基盤となる数学の基礎的・基本的な知識・技能、幅広い知識・技能を活用できる思考力・判断力、及び自らの思考や判断を他者に伝える表現力を評価する。	300点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を判断材料として活用する。調査書は、高等学校全般的な学習を前提とした基礎学力、高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度 ^(※)
大学入学共通テスト (6教科7科目)	○	○		
個別学力検査 (小論文又は数学)	○	○	○	
調査書	○			○

(※)地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（6教科7科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	200点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	200点
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	200点
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」 } から1	200点
数学	「数学Ⅰ，数学A」及び「数学Ⅱ，数学B，数学C」	150点 150点
情報	「情報Ⅰ」	100点
合計		1200点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱いいます。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合はいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱いいます。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文又は数学

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文又は数学試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場又は大阪会場で受験できます。Web出願登録時に第一希望試験会場を選択してください。出願後の第一希望試験会場の変更はできませんのでご注意ください。なお、大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、本学会場での受験となる可能性があります。受験票記載の試験会場を必ず確認してください。

- 1 本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）
- 2 大阪会場（難波御堂筋ホール 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング）

情報学部 一般選抜 前期日程(4教科型)

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月26日(月)～ 2月4日(水) 消印有効	2月25日(水)	3月8日(日)	3月8日(日)～ 3月15日(日) 必着

2 募集人員

情報学科 20名

3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者。

4 出願書類

Web出願・出願書類

(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2) 調査書(出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替様式(本学所定の様式による)を提出してください。調査書代替様式は本学ホームページからダウンロードしてください。



5 選抜方法等

一般選抜では本学のアドミッション・ポリシーに基づいて、学力の3要素に対応する「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」と、学習する態度としての「協働する態度」を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (4教科5科目)	大学入学共通テストにより、高等学校全般的な学習を前提とした基礎学力及び情報学部で学ぶうえで必要な思考力・判断力を評価する。	800点
個別学力検査 (小論文又は数学) 数学の出題範囲： 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C	小論文又は数学のいずれかを選択し、評価を行う。 小論文の個別学力検査では、社会と情報技術の関係に関する出題を通じて、関連する知識を理解し、その知識を効果的に活用する思考力を評価する。また、さらに自分自身の考えを適切に表現する力も重視する。 数学の個別学力検査では、情報学を学ぶための基盤となる数学の基礎的・基本的な知識・技能、幅広い知識・技能を活用できる思考力・判断力、及び自らの思考や判断を他者に伝える表現力を評価する。	300点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を判断材料として活用する。調査書は、高等学校全般的な学習を前提とした基礎学力、高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度 ^(※)
大学入学共通テスト (4教科5科目)	○	○		
個別学力検査 (小論文又は数学)	○	○	○	
調査書	○			○

(※)地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（4教科5科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	高得点 1教科 200点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」 } から1	200点
数学	「数学Ⅰ，数学A」及び「数学Ⅱ，数学B，数学C」	150点 150点
情報	「情報Ⅰ」	100点
合計		800点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合はいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文又は数学

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文又は数学試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場又は大阪会場で受験できます。Web出願登録時に第一希望試験会場を選択してください。出願後の第一希望試験会場の変更はできませんのでご注意ください。なお、大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、本学会場での受験となる可能性があります。受験票記載の試験会場を必ず確認してください。

- 1 本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）
- 2 大阪会場（難波御堂筋ホール 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング）

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月26日(月)～ 2月4日(水) 消印有効	3月12日(木)	3月21日(土)	3月21日(土)～ 3月27日(金) 必着

2 募集人員

情報学科 10名

3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者。

4 出願書類

(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2) 調査書(出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替様式(本学所定の様式による)を提出してください。調査書代替様式は本学ホームページからダウンロードしてください。

Web出願・出願書類



5 選抜方法等

一般選抜では本学のアドミッション・ポリシーに基づいて、学力の3要素に対応する「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」と、学習する態度としての「協働する態度」を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (5教科6科目)	大学入学共通テストにより、高等学校全般的な学習を前提とした基礎学力及び情報学部で学ぶうえで必要な思考力・判断力を評価する。	1000点
個別学力検査 (小論文)	個別学力検査は、小論文を実施する。社会と情報技術の関係に関する出題を通じて、関連する知識を理解し、その知識を効果的に活用する思考力を評価する。また、さらに自分自身の考えを適切に表現する力も重視する。	300点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を判断材料として活用する。調査書は、高等学校全般的な学習を前提とした基礎学力、高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度 ^(※)
大学入学共通テスト (5教科6科目)	○	○		
個別学力検査 (小論文)	○	○	○	
調査書	○			○

(※)地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（5教科6科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	高得点 3教科 200点 200点 200点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」 } から1	
数学	「数学Ⅰ，数学A」及び「数学Ⅱ，数学B，数学C」	150点 150点
情報	「情報Ⅰ」	100点
合計		1000点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱いいます。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合はいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱いいます。

6 試験時間割

13時30分	14時30分	15時00分～16時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付は行いませんので、14時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
11月1日(土)～ 11月6日(木) 消印有効	11月16日(日)	12月2日(火)	12月2日(火)～ 12月9日(火) 必着

2 募集人員

情報学科 全国枠20名、地域枠10名、専門学科枠5名

※本学は基本理念に基づき、北近畿地域における高等教育機関への進学機会を提供することを目的として、学校推薦型選抜において「地域枠」（「全国枠」としての選抜対象にもなる）を設定しています。また、多様な学生を受け入れることを目的として「専門学科枠」を設定しています。

3 出願資格

1つの高等学校から推薦できる人数に上限はありません。

各枠の出願資格を有する場合は、いずれかの枠を選んで出願することができます。併願不可。

【全国枠】

次の(1)～(4)の全てを満たす者。

- (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者（単位制高等学校等で令和7年度の途中に卒業する者を含む。なお、過年度生等の出願は不可とする）
- (2)合格した場合は入学することを確約できる者
- (3)学校長が推薦する者
- (4)全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.8以上の者

【地域枠】

全国枠の出願資格(1)～(4)を全て満たし、かつ次の市町に所在する高等学校の生徒。

- ・京都府：京都市右京区（ただし旧京北町に限る）、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、京丹波町、伊根町、与謝野町
- ・兵庫県：豊岡市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、香美町、新温泉町

【専門学科枠】

全国枠の出願資格(1)～(4)を全て満たし、かつ以下を満たす者。

- ・工業、商業又は情報に関する教科・科目を20単位以上修得見込みの者

4 出願書類

- (1)志願票
 - (2)調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）
 - (3)学校長推薦書（本学所定の様式により厳封したもの）
 - (4)自己アピール書（本学所定の様式による）
- ※（1）はWeb出願サイトに登録し、印刷してください。
- ※（3）（4）は本学ホームページからダウンロードしてください。

Web出願・出願書類



5 選抜方法等

学校推薦型選抜では本学のアドミッション・ポリシーに基づいて、学力の3要素に対応する「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」と、学習する態度としての「協働する態度」を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
出願書類 (調査書、学校長推薦書、自己アピール書)	調査書、学校長推薦書、及び自己アピール書により、高等学校全般の学習を前提とした知識・技能と、自らの経験や活動で得た主体性や協働する態度を評価する。	50点
面接 (個別)	出願書類をもとにした質疑応答及び高等学校での学習内容を前提とした基礎学力に関する質疑応答を行う。その中で、情報学を通じて社会に貢献するために必要な思考力や判断力、自分の考えを論理的に伝える能力、さらに地域社会の多様な人々と協力しながら学び続ける態度を評価する。	50点
小論文	社会と情報技術の関係に関する出題を通じて、関連する知識を理解し、その知識を効果的に活用する思考力を評価する。また、さらに自分自身の考えを適切に表現する力も重視する。	50点

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度 ^(※)
出願書類 (調査書、学校長推薦書、自己アピール書)	○			○
面接		○	○	○
小論文	○	○	○	

(※)地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分	11時30分～12時45分	12時45分	13時00分～
入室可能時間	指定席に着席	小論文	休憩	指定席に着席	面接

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・面接試験は、12時45分までに指定席に着席をしていない場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
9月1日(月)～ 9月8日(月) 消印有効	10月12日(日) 予備日:10月13日(月・祝)	11月1日(土)	11月1日(土)～ 11月10日(月) 必着

総合型選抜 I 及び II は、志願者数によって2日間の実施とする場合があります。ただし、2日間の実施となった場合も選抜区分ごとにいずれか1日で実施します。日程変更がある場合は、事前に本学ホームページ等でお知らせします。

2 募集人員

情報学科 5名

ホームページ



3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、合格した場合は入学することを確約できる者。

※ 過年度生等の出願は可とする。総合型選抜 II との併願不可。

4 出願書類

(1) 志願票

(2) 調査書 (出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替様式 (本学所定の様式による) を提出してください。

(3) 自己推薦書 (本学所定の様式による)

※(1)はWeb出願サイトに登録し、印刷してください。

※(2)調査書代替様式及び(3)は本学ホームページからダウンロードしてください。

Web出願・出願書類



5 選抜方法等

総合型選抜では本学のアドミッション・ポリシーに基づいて、学力の3要素に対応する「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」と、学習する態度としての「協働する態度」を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
出願書類 (調査書、自己推薦書)	調査書及び自己推薦書により、高等学校全般的な学習を前提とした知識・技能と、自らの経験や活動で得た主体性や協働する態度、能力や適性を適切に伝えるための表現力を評価する。	50点
面接 (個別)	出願書類をもとにした質疑応答及び高等学校での学習内容を前提とした基礎学力に関する質疑応答を行う。その中で、情報学を通じて社会に貢献するために必要な思考力や判断力、自分の考えを論理的に伝える能力、さらに地域社会の多様な人々と協力しながら学び続ける態度を評価する。	50点
小論文	社会と情報技術の関係に関する出題を通じて、関連する知識を理解し、その知識を効果的に活用する思考力を評価する。また、さらに自分自身の考えを適切に表現する力も重視する。	50点

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度(※)
出願書類 (調査書、自己推薦書)	○		○	○
面接		○	○	○
小論文	○	○	○	

(※)地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～ 11時30分	11時30分～ 12時45分	12時45分	13時00分～
入室可能時間	指定席に着席	小論文	休憩	指定席に着席	面接

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・面接試験は、12時45分までに指定席に着席をしていない場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

8 留意事項

総合型選抜Ⅰにおいて不合格となった場合は、本学及び他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜、一般選抜及び総合型選抜（本学の総合型選抜Ⅱを除く。）に出願することができます。ただし、出願に際しては、志望する大学・学部等の各選抜区分の出願資格を満たしたうえで、新たに出願登録及び検定料納入することが必要となります。

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
9月1日(月)～ 9月8日(月) 消印有効	10月12日(日) 予備日:10月13日(月・祝)	2月11日(水)	2月11日(水)～ 2月17日(火) 必着

総合型選抜Ⅰ及びⅡは、志願者数によって2日間の実施とする場合があります。ただし、2日間の実施となった場合も選抜区分ごとにいずれか1日で実施します。日程変更がある場合は、事前に本学ホームページ等でお知らせします。

2 募集人員

情報学科 5名

ホームページ



3 出願資格

6ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者、かつ合格した場合は入学することを確約できる者。

※ 過年度生等の出願は可とする。総合型選抜Ⅰとの併願不可。

4 出願書類

(1) 志願票

(2) 調査書 (出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替様式 (本学所定の様式による) を提出してください。

(3) 自己推薦書 (本学所定の様式による)

※(1)はWeb出願サイトに登録し、印刷してください。

※(2)調査書代替様式及び(3)は本学ホームページからダウンロードしてください。

Web出願・出願書類



5 選抜方法等

総合型選抜では本学のアドミッション・ポリシーに基づいて、学力の3要素に対応する「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」と、学習する態度としての「協働する態度」を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
出願書類 (調査書、自己推薦書)	調査書及び自己推薦書により、高等学校全般の学習を前提とした知識・技能と、自らの経験や活動で得た主体性や協働する態度、能力や適性を適切に伝えるための表現力を評価する。	100点
面接 (個別)	出願書類をもとにした質疑応答及び高等学校での学習内容を前提とした基礎学力に関する質疑応答を行う。その中で、情報学を通じて社会に貢献するために必要な思考力や判断力、自分の考えを論理的に伝える能力、さらに地域社会の多様な人々と協力しながら学び続ける態度を評価する。	200点
大学入学共通テスト (4教科5科目)	大学入学共通テストにより、高等学校全般の学習を前提とした基礎学力、及び情報学部で学ぶうえで必要な思考力・判断力を評価する。	800点

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度(※)
出願書類 (調査書、自己推薦書)	○		○	○
面接		○	○	○
大学入学共通テスト (4教科5科目)	○	○		

(※)地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（4教科5科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	高得点 1教科 200点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」 } から1	200点
数学	「数学Ⅰ，数学A」及び「数学Ⅱ，数学B，数学C」	150点 150点
情報	「情報Ⅰ」	100点
合計		800点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合はいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～
入室可能時間	指定席に着席	面接

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- ・指定席への着席時間を15分以上遅刻した場合は受験を認めません。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

8 留意事項

- （1）総合型選抜Ⅱの志願者には、令和8年度大学入学共通テストの受験を課しています。そのため、大学入学共通テストへの出願後、指定する期間内に本学のWeb出願サイトから大学入試センターとのWebAPI連携の手続きを行い、「大学入学共通テストの成績請求票番号」を取得する必要があります。手続き詳細については、志願者に改めてご案内します。大学入学共通テストを受験しなかった場合（本学が指定する教科・科目を受験していなかった場合を含む。）及び本学が指定する期間にWebAPI連携の手続きをしなかった場合は、不合格となります。
- （2）総合型選抜Ⅱの志願者は、本選抜に不合格となった場合に備えて、本学及び他の国公立大学・学部の一一般選抜に出願することができます。ただし、出願に際しては、志望する大学・学部等の各選抜区分の出願資格を満たしたうえで、新たに出願登録及び検定料納入することが必要となります。本学の学校推薦型選抜及び総合型選抜Ⅰとの併願はできません。
- （3）総合型選抜Ⅱの合格者は、本学及び他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験しても合格者となりません。ただし、本学へ「入学辞退届」を提出し、許可された者は除きます。

令和7年度 入試実施状況

①志願者数・受験者数・合格者数・入学者数

学部・学科	種別	選抜区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
地域経営学部	推薦	全国枠	20	31	31	18	18
		地域枠	12	24	24	17	17
		専門学科枠	3	1	1	1	1
		小計	35	56	56	36	36
	一般	前期日程 (6教科型)	40	102	92	51	40
		前期日程 (3教科型)	15	115	103	45	34
		後期日程	10	138	43	10	4
		小計	65	355	238	106	78
		社会人	若干名	0	0	0	0
		私費外国人留学生	若干名	0	0	0	0
		合計	100	411	294	142	114
地域経営学科	推薦	全国枠	15	29	29	16	16
		地域枠	10	20	20	13	13
		専門学科枠	2	1	1	1	1
		小計	27	50	50	30	30
	一般	前期日程 (6教科型)	30	86	77	38	29
		前期日程 (3教科型)	11	97	86	31	26
		後期日程	7	86	33	7	3
		小計	48	269	196	76	58
		社会人	若干名	0	0	0	0
		私費外国人留学生	若干名	0	0	0	0
		合計	75	319	246	106	88
医療福祉経営学科	推薦	全国枠	5	2	2	2	2
		地域枠	2	4	4	4	4
		専門学科枠	1	0	0	0	0
		小計	8	6	6	6	6
	一般	前期日程 (6教科型)	10	16	15	13	11
		前期日程 (3教科型)	4	18	17	14	8
		後期日程	3	52	10	3	1
		小計	17	86	42	30	20
		社会人	若干名	0	0	0	0
		合計	25	92	48	36	26

学部・学科	種別	選抜区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
情報学部・情報学科	推薦	全国枠	20	26	26	20	20
		地域枠	10	16	16	15	15
		専門学科枠	5	12	11	5	5
		小計	35	54	53	40	40
	一般	前期日程 (6教科型)	40	84	73	64	49
		前期日程 (4教科型)	15	12	10	10	7
		後期日程	10	117	34	17	12
		小計	65	213	117	91	68
		私費外国人留学生	若干名	0	0	0	0
		合計	100	267	170	131	108

②一般選抜 合格者の最高点・最低点・平均点・得点率

地域経営学部

学科	選抜区分	共通テスト	個別試験	合計	共通テスト			個別試験			総点		
		配点	配点		最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点
地域経営学科	前期日程 (6教科型)	1200	300	1500	842.0 70.2%	690.0 57.5%	735.6 61.3%	216.0 72.0%	129.0 43.0%	171.6 57.2%	1023.5 68.2%	870.5 58.0%	907.3 60.5%
	前期日程 (3教科型)	600	300	900	484.0 80.7%	387.0 64.5%	426.6 71.1%	210.0 70.0%	136.5 45.5%	173.7 57.9%	657.0 73.0%	573.0 63.7%	600.3 66.7%
	後期日程	800	200	1000	632.0 79.0%	595.0 74.4%	611.3 76.4%	136.0 68.0%	103.0 51.5%	121.9 60.9%	755.0 75.5%	706.0 70.6%	733.1 73.3%
医療福祉経営学科	前期日程 (6教科型)	1200	300	1500	835.0 69.6%	589.0 49.1%	666.7 55.6%	187.5 62.5%	100.5 33.5%	151.2 50.4%	1022.5 68.2%	731.0 48.7%	817.8 54.5%
	前期日程 (3教科型)	600	300	900	452.0 75.3%	348.0 58.0%	393.7 65.6%	186.0 62.0%	114.0 38.0%	147.3 49.1%	623.0 69.2%	497.5 55.3%	541.0 60.1%
	後期日程	800	200	1000	— —	— —	545.0 68.1%	— —	— —	99.0 49.5%	— —	— —	644.0 64.4%

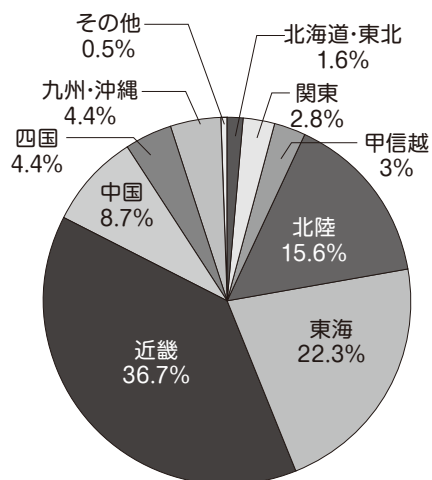
医療福祉経営学科 合格者が少数であるため、後期日程については平均点のみ公表します。

情報学部

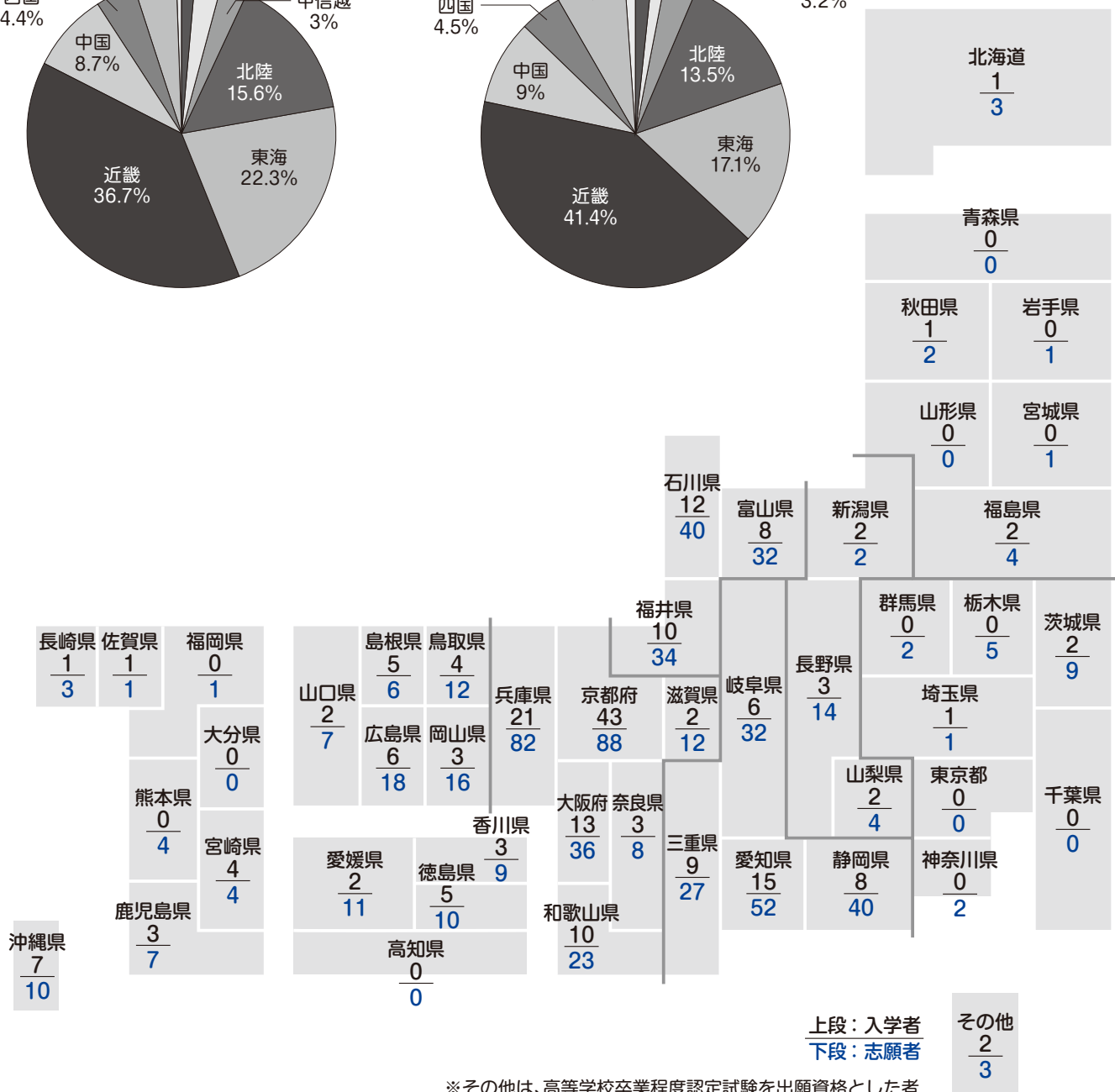
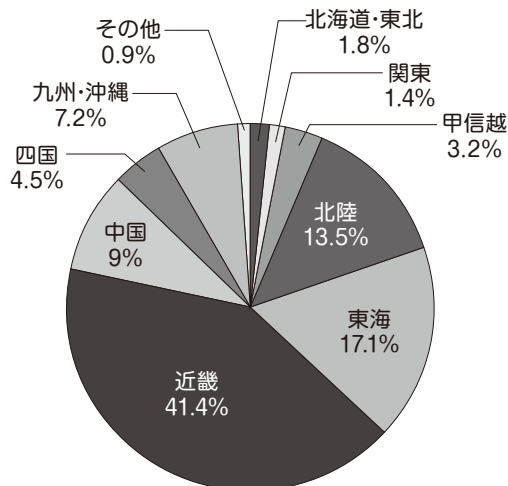
学科	選抜区分	共通テスト	個別試験	合計	共通テスト			個別試験			総点		
		配点	配点		最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点
情報学科	前期日程 (6教科型)	1200	300	1500	808.5 67.4%	561.0 46.8%	683.2 56.9%	292.5 97.5%	105.0 35.0%	210.1 70.0%	1041.0 69.4%	767.5 51.2%	893.3 59.6%
	前期日程 (4教科型)	800	300	1100	572.5 71.6%	364.0 45.5%	461.0 57.6%	262.5 87.5%	135.0 45.0%	213.0 71.0%	797.5 72.5%	545.5 49.6%	674.0 61.3%
	後期日程	1000	300	1300	746.0 74.6%	596.5 59.7%	664.7 66.5%	217.5 72.5%	135.0 45.0%	177.4 59.1%	941.0 72.4%	774.5 59.6%	842.1 64.8%

③地区別（都道府県）志願・入学状況

■地区別志願状況 (678人)



■地区別入学状況 (222人)



※その他は、高等学校卒業程度認定試験を出願資格とした者

④地域経営学部 志願者出身高等学校一覧

北海道	石川県	長良	中部大学第一	春日丘	神港橋	福山暁の星女子
札幌西	大聖寺	大垣南	桜丘	生野	滝川	山口県
北広島	鶴来	大垣東	大成	富田林	須磨学園	岩国
札幌第一	金沢錦丘	郡上北	三重県	いちりつ	夙川	華陵
岩手県	金沢二水	関	四日市南	北千里	東洋大学附属姫路	大津緑洋
黒沢尻北	金沢伏見	加茂	津西	水都国際	第一学院 養父校	山口松風館
秋田県	金沢桜丘	斐太	宇治山田	大阪商業大学	奈良県	徳島県
能代	金沢西	飛騨高山	久居	桃山学院	桜井	城南
福島県	羽咋	可児	川越	浪速	奈良北	城北
葵	七尾	各務原西	鈴鹿	大阪信愛学院	奈良育英	脇町
会津学鳳	飯田	鷺谷	高田	関西大倉	和歌山県	徳島市立
茨城県	小松明峰	岐阜第一	滋賀県	清風	桐蔭	徳島北
太田第一	野々市明倫	静岡県	八幡	常翔啓光学園	海南	香川県
下館第一	星稜	吉原	水口東	清教学園	田辺	坂出
常磐大学	小松大谷	富士	米原	兵庫県	開智	英明
翔洋学園	福井県	清水南	虎姫	兵庫	智辯学園和歌山	愛媛県
S	羽水	静岡城北	光泉カトリック	神戸甲北	鳥取県	愛媛大学附属
栃木県	三国	静岡東	京都府	東灘	鳥取東	川之江
栃木	大野	焼津中央	洛北	青雲	八頭	西条
茂木	勝山	島田	洛東	芦屋（県立）	倉吉西	今治北
佐野日本大学	丹生	磐田南	桃山	尼崎北	米子西	松山北
群馬県	武生	浜松南	亀岡	尼崎小田	鳥取城北	宇和島東
渋川女子	若狹	静岡市立	綾部	川西緑台	島根県	松山中央
高崎健康福祉大学高崎	金津	富士東	福知山	柏原	安来	済美
埼玉県	武生東	伊豆中央	工業	氷上西	松江市立皆美が丘女子	長崎県
昌平	北陸	富士宮西	東舞鶴	明石	岡山県	猶興館
神奈川県	福井工業大学附属福井	清流館	西舞鶴	明石北	倉敷青陵	上五島
横浜学院	敦賀気比	静岡学園	大江	明石西	津山東	熊本県
新潟県	山梨県	浜松学芸	海洋	加古川東	勝山	済々黌
新潟中央	甲府第一	藤枝明誠	峰山	小野	総社南	宮崎県
新発田	巨摩	愛知県	紫野	西脇	明誠学院	宮崎南
富山県	甲府昭和	津島	洛西	社	岡山学芸館	宮崎西
桜井	長野県	安城	菟道	北条	広島県	鹿児島県
魚津	須坂	安城東	南陽	龍野	広島観音	出水
滑川	篠ノ井	豊橋東	城南菱創	赤穂	千代田	鹿屋
富山東	屋代	豊丘	宮津天橋	豊岡	五日市	大島
富山南	上田	成章	丹後緑風	八鹿	安古市	開陽
八尾	伊那弥生ヶ丘	小坂井	大谷	浜坂	尾道北	徳之島
高岡商業	松本県ヶ丘	緑	京都女子	尼崎稲園	庄原格致	楠隼
高岡南	松本蟻ヶ崎	豊田北	京都橘	三木北	三次	沖縄県
砺波	飯山	高蔵寺	京都共栄学園	明石城西	舟入	コザ
呉羽	長野日本大学	豊田	福知山成美	姫路飾西	呉	球陽
大門	岐阜県	岡崎西	大阪府	三田西陵	広島井口	向陽
南砺福野	岐阜北	新川	渋谷	兵庫県立大学附属	神辺旭	那覇国際
						N

⑤情報学部 志願者出身高等学校一覧

宮城県	長野県	国府	城陽	ルネサンス大阪	向陽	坂出
東北	塩尻志学館	小坂井	福知山	四天王寺東	桐蔭	善通寺第一
秋田県	岐阜県	天白	工業	兵庫県	海南	高松桜井
秋田南	長良	東海南	西舞鶴	神戸商業	日高	高松中央
福島県	岐山	春日井東	峰山	尼崎北	田辺	大手前高松
安積	加納	西春	西京	伊丹北	新宮	愛媛県
茨城県	大垣北	阿久比	堀川	宝塚	串本古座	新居浜東
水戸葵陵	郡上	豊田南	洛西	川西緑台	開智	宇和島東
S	関	愛知総合工科	西城陽	氷上西	近畿大学附属新宮	福岡県
栃木県	恵那	南山	鳥羽	明石北	鳥取県	福岡工業大学附属城東
宇都宮東	斐太	人間環境大学附属岡崎	南陽	姫路東	鳥取西	佐賀県
富山県	静岡県	三重県	城南菱創	豊岡	八頭	唐津西
滑川	榛原	四日市南	丹後緑風	八鹿	米子西	長崎県
富山北部	掛川東	四日市西	東山	浜坂	鳥取城北	島原
富山東	掛川西	亀山	京都産業大学附属	和田山	島根県	熊本県
砺波	袋井	津西	京都暁星	西宮今津	出雲商業	熊本工業
石川県	浜松西	松阪	日星	尼崎稲園	大田	東稜
小松	浜松市立	松阪商業	京都成章	加古川北	浜田商業	宮崎県
金沢二水	浜松湖南	宇治山田	大阪府	三木北	岡山県	富島
金沢商業	伊豆伊東	川越	住吉	北摂三田	笠岡	宮崎商業
金沢桜丘	静岡北	三重	佐野	三田西陵	明誠学院	鹿児島県
羽咋	愛知県	鈴鹿中等教育	東	兵庫県立大学附属	鹿島朝日	川内
七尾	名古屋大学教育学部附属	滋賀県	いちりつ	三田祥雲館	広島県	沖縄県
小松大谷	松蔭	東大津	都島工業	神戸第一	府中	首里
福井県	名古屋西	米原	興國	神戸星城	ノートルダム清心	普天間
藤島	旭野	虎姫	上宮	夙川	山口県	美来工科
大野	木曽川	玉川	浪速	奈良県	山口	向陽
鯖江	五条	京都府	羽衣学園	桜井	慶進	沖縄尚学
北陸	碧南	洛北	常翔学園	高田	徳島県	
仁愛女子	安城	嵯峨野	大阪産業大学附属	宇陀	城東	
山梨県	安城東	桂	阪南大学	奈良学園登美ヶ丘	徳島市立	
日本航空	西尾東	桃山	早稲田摂陵	和歌山県	香川県	

⑥小論文試験の全体講評

2025 年度 地域経営学部 小論文試験についての全体講評

1. 出題の意図

出題の意図は、現代社会の課題をテーマにし、アドミッション・ポリシーに則して、教養と基礎学力に加え、資料や文章を読む力やその理解を表す力などの基本的なコミュニケーション能力を問うことにありました。現代社会の課題は広範で、一つの教科・科目には収まらず、複数の教科・科目が重なり合って多かれ少なかれ関係していると言えます。

2. 採点・評価のポイント

出題は昨年度と同じく大問2題、出題形式は論述式でした。

問題1

問題1は英文を読む力と日本語の文章を書く力の両方を問う問題でした。英文の要約は一つのセンテンスあるいはパラグラフを直訳することではありません。また、英文に書かれていないことや自分が考えていることを書くものでもありません。要約は、英文が何を主張しているのかを把握し、その主張を中心に英文全体の内容が含まれるように書かなければいけません。そして、もっとも大切なこととして、要約は日本語の文章として完結していなければいけません。解答用紙に書いた要約文を必ず読み直してください。

解答には字数の上限が課されていますから、書く内容を適切に取捨選択しなければいけません。たとえば、事例は主張を補強するために用いられます。限られた字数で書かなければいけない要約ですから、事例ではなく、筆者の主張を書くことが評価のポイントになります。

文章を「要約する」とはということなのかを考えながら学習してください。英文に限らず、新聞の社説などを読んで要約するという学習は文章を書く力だけでなく、読む力も養成します。

問題2

問題2は図表が何を示しているのかを簡潔に説明できる力と、図表から何が読み取れるのかを論理的に記述できる力を問う問題でした。何かを伝えようとするとき、図表を用いることがあります。図表が有力な手段になるからです。しかし、図表は見ればわかる、ということではなく、図表をどのように見るのかについて、簡潔な文章に表すことが求められます。

図表を見てわかることは結果です。それが「説明しなさい」で問われていることです。説明が求められている解答では、推測（と思う）や考察（と考える）の記述は適切ではありません。また、グラフの説明として、縦軸や横軸が何で、何がどんな色で、どのように描かれているかなどは、必要になるときがありますが、ここでの解答には必要ありません。必要のない記述に文字数を使わないようにしましょう。

結果には原因があります。原因は図表から推測することになります。そこでは、複数の教科・科目から得ている知識を駆使し、論理を展開することが求められます。推測される原因は一つではありませんから、正解もまた一つではありません。

評価のポイントは、問題が何を求めているのか、結果の説明なのか、原因の推測なのか、問題文を注意深く読んで、題意に則して簡潔に解答できているかどうかです。

福知山公立大学入試委員会

2025 年 3 月 31 日

2025 年度 情報学部 小論文試験についての全体講評

1. 出題の意図

情報学部の小論文試験は、アドミッション・ポリシーにおいて「幅広い教養と基礎学力を身に付けていること」および「情報技術のあり方について自ら思考し表現共有する力を有すること」について評価することを主たる目的とした設問から構成されています。このため、社会で活用されている情報技術に関する文章やデータなどを題材とした問題を出題し、題材の内容を理解するための知識や理解力に加えて、理解した内容に基づいて考察する思考力と、設問に沿って論理的にかつ過不足なく思考した内容を記述する表現力を問う出題になっています。

2. 採点・評価のポイント

いずれの選抜区分でも、小論文の出題は、それぞれの題材に基づいた2つの大問（問題1と問題2）から構成されています。問題ごとの評価のポイントは以下の通りです。

問題1

問題1では、主に題材の内容に関する知識や理解力が問われ、理解したことを過不足なく述べるのが期待される2問から構成されています。

問1では題材の文章が述べている内容や、技術と社会との関わりなどを的確に把握する理解力が問われました。また、問2では主に理解に基づいて思考する力が問われました。解答の論述においては、設問の前提となる題材に基づくことが重視されています。題材に関する知識あるいは理解に基づく思考の内容を適切な文章として表現することが必要でした。とくに、設問に対応する箇所を適切に抽出できる理解力と論点を明確にして思考する力が重視され、問われていることがらについて、適切に理解しているか、提示されたことについて考察を行っているか、その内容を指定の文字数の範囲で簡潔に記述できているかが評価のポイントでした。

問題2

問題2においては、問われたことについての自分自身の考えを記述することが求められています。その記述の明快さと論理展開の適切さが評価のポイントです。題材として提示された記事の内容を理解し、その理解に基づいて設問に沿って考察し、考察した内容を適切に述べるのが期待されています。一部の選抜区分に、表を読みとって解答する設問がありました。そこでも、題材として提示されたデータが示している状況を理解できることが求められました。

問題2においては、計算を必要とする箇所を除いて、唯一の明らかな正解は存在しません。しかし、題材に含まれない内容や、題材において否定されている事実に立脚した論述は適切ではありません。また、設問で指定されていることから逸脱した論理の展開や事例の提示なども、適切な解答ではありません。問の前提となる仮定や事実を把握すること、そこから自分自身で考えて結論を導くことが重要です。評価においては、導かれた結論の良し悪しではなく、なぜそのように考察したのかについて、題材と設問に立脚しつつ簡潔かつ明快に述べているかを重視し、現実的な観点からの考察であるかなどの要素も踏まえた評価がなされました。

福知山公立大学入試委員会

2025 年 3 月 31 日

⑦地域経営学部 学校推薦型選抜 小論文試験問題

問題 1 次の英文の要約を 200 字以内の日本語で書きなさい。

Clothing, an essential part of our daily lives, has a large impact on the environment, and both the apparel industry and consumers must change.

In recent years, some 4 billion items of clothing are supplied to the Japanese market annually. At the same time, it is estimated that around 485,000 metric tons of clothing, equivalent to around 1.9 billion items, is discarded annually. This means that on average, a dozen or so items per person in Japan are being thrown away each year.

The apparel industry generates a huge amount of scrap material during the production process, and there are also cases where companies sometimes discard surplus stock.

Fast fashion, which has spread since the 2000s, has spurred mass production and consumption. While this market model has made it easier for everyone to enjoy the latest trends, the low prices have also led to an increase in unnecessary purchases.

The impact on water resources and climate change is also large. The amount of water used to produce one garment from raw materials would fill 11 bathtubs, while the amount of carbon dioxide emitted is about the same generated in the manufacturing of roughly 255 plastic bottles.

In developing countries, where most production is based, dyes result in water pollution, and human rights problems such as low wages have also surfaced.

At the same time, there have been moves to toughen regulations overseas. The European Union, for example, is adopting "ecodesign" sustainability rules [1] that ban the disposal of unsold clothing.

In Japan, the government is calling for the implementation of "sustainable fashion" that takes the environment into consideration. The Ministry of Economy, Trade and Industry [2] aims to reduce the supply of clothing to 2 billion pieces by 2040, around half the current level.

Our current times call for the development of high-quality clothing that can be worn for a long time. Among young people, there is growing awareness toward selecting products with a low environmental impact, even if they cost slightly more, and toward

reusing items.

The actions of consumers will influence corporate management policies. Companies should disclose information about their supply chains and working environments, encouraging consumers to make smart choices. And if those firms obtain international certifications based on third-party inspections [3] of production processes, such as the use of agricultural chemicals, they can also gain consumer trust.

"Responsible production and consumption" is a theme of the United Nations' Sustainable Development Goals.

Increased interest in clothing, which is close to us, will likely change behavior in other areas too. We hope to make this a step toward building a resource-recycling society.

(出典：Editorial: Mass production, disposal of clothing must change in Japan, The Mainichi, June 14, 2024, 原文のまま抜粋)

[1] "ecodesign" sustainability rules : エコデザイン規制

[2] the Ministry of Economy, Trade and Industry : 経済産業省

[3] third-party inspections : 第三者検査

- 1 -

- 2 -

問題2 次の二つの図は、令和5年版『厚生労働白書』からの引用である。これらの図に基づいて、以下の設問に答えなさい。

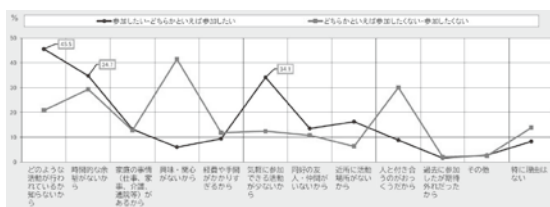


図1 社会参加活動をしない主な理由

資料：厚生労働省「令和4年度少子高齢社会等調査検討事業」。

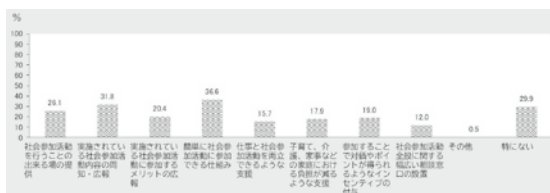


図2 地域における社会参加活動を進めるために有効だと思う施策

資料：厚生労働省「令和4年度少子高齢社会等調査検討事業」。

設問

問1 図1から読み取れることについて、200字以内で書きなさい。

問2 図1と図2を踏まえて、地域における社会参加活動を進めるための具体的な施策について、あなたの考えを250字以内で書きなさい。

- 3 -

- 4 -

⑧地域経営学部 一般選抜前期日程 小論文試験問題

問題1 次の英文の要約を200字以内の日本語で書きなさい。

The Noto Peninsula Earthquake dealt a heavy blow to the region's traditional culture and industries. Detailed support for the affected areas is essential to protect long-held techniques and cherished townscapes.

Wajima lacquerware [1], a traditional craft of Wajima, Ishikawa Prefecture, which has been designated as an Important Intangible Cultural Property by the central government, suffered damage to its production and sales bases, which were destroyed and burned by the earthquake and a subsequent fire at the Wajima Morning Market.

Many artisans and related people lost their workshops, homes and stores, and continue to live as evacuees. The city is home to three artisans who are officially honored as living national treasures. One of them was seriously injured.

Wajima lacquerware, known for its high level of artistry, is one of the region's leading industries. There are at least 100 processes involved, from the initial wood processing to the final decoration, with a high degree of division of labor by artisans.

Since every process is indispensable, it will be difficult to restart the business as long as the artisans and other workers remain scattered.

In the first place, demand for Wajima lacquerware had become sluggish due to changing lifestyles, and the aging of the artisans was also an issue. Their livelihoods and workplaces must be quickly rebuilt to restore the production system.

The government will reportedly begin subsidizing the costs necessary to continue the traditional craft businesses, including securing tools and raw materials. Depopulation is continuing in the affected areas. If nothing is done, more and more artisans could leave the business, which could accelerate the decline of the region. It is important to steadily implement support for restarting businesses.

Temporary joint workshops for traditional handicraft artisans were built in Fukushima Prefecture after the 2011 Great East Japan Earthquake. In the case of Wajima lacquerware, where the division of labor is well established, it would be effective to provide such a place.

One idea would be to establish a facility that handles production, sales and

information dissemination as a symbol of reconstruction from the earthquake. This should be considered broadly in conjunction with the reconstruction of the fire-razed Wajima Morning Market.

Encouraging people to buy local products will also support the affected areas.

In addition to Wajima lacquerware, other traditional craft businesses in the prefecture, such as stores selling Kutani ware porcelain [2], were also affected by the disaster. Many sake breweries in Wajima, long known as an excellent place for sake brewing, are reportedly facing difficulties in producing sake this season due to the disaster.

Fairs selling Noto crafts and sake have already been held in various locations and online. It is necessary to encourage such events.

Some of the damaged buildings and townscapes have high cultural value. Cultural assets are a source of emotional support for local residents and are also important tourism resources.

In order to protect local communities and restore civic vitality, the central and local governments should carefully listen to the affected people as to what they need and formulate concrete medium- to long-term support measures until recovery is completed.

(出典：Editorial: Noto's Cultural Industries: Keep Local Craft Traditions Alive as Driving Force for Reconstruction, The Japan News, February 13, 2024)

[1] Wajima lacquerware：輪島塗

[2] Kutani ware porcelain：九谷焼

- 1 -

- 2 -

問題2 次の二つの図は、2024年版『中小企業白書』からの引用である。これらの図に基づいて、以下の設問に答えなさい。

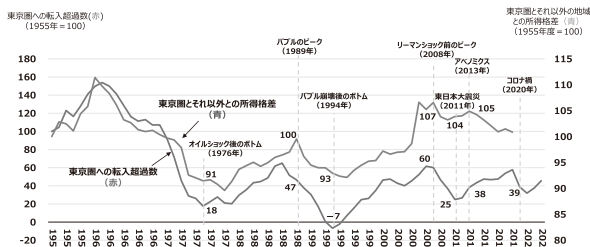


図1 東京圏への転入超過数と所得格差の推移
(1955年/年度を100とした際の推移)

資料：内閣府「県民経済計算」、総務省「住民基本台帳人口移動報告」を基に経済産業省作成。
(出所) 経済産業省「産業構造審議会経済産業政策新機軸部会(第20回) 資料5 少子化対策に資する地域の包括的成長について」(2024年2月20日)
(注) 1. 県民経済計算は、1955～1974年度は昭和55年基準計数(参考系列)、1975～1989年度は平成2年基準計数(正式系列)、1990～1995年度は平成7年基準計数(正式系列)、1996～2000年度は平成12年基準計数(正式系列)、2001～2005年度は平成17年基準計数(正式系列)、2006～2010年度は平成23年基準計数(正式系列)、2011～2019年度は平成27年基準計数(正式系列)による。1955～1971年度は沖縄を含んでいない。
2. ここでいう「東京圏とそれ以外の地域との所得格差」とは、東京圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)の各都県における県民所得、人口の合計から算出した一人当たり県民所得(加重平均)を、東京圏以外の各道府県における県民所得、人口の合計から算出した一人当たり県民所得(加重平均)で除したものと。
3. なお、「東京圏への転入超過数」は年、「東京圏とそれ以外の地域との所得格差」は年度で算出していることに留意。

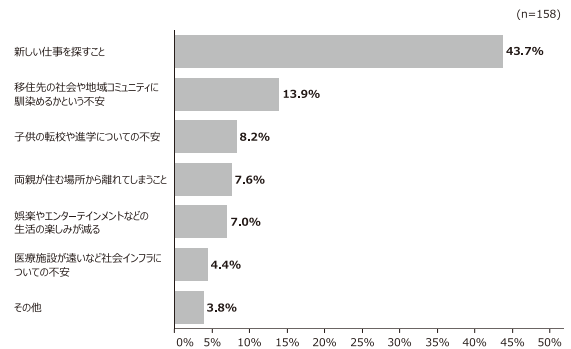


図2 東京圏から移住する際の阻害要因

資料：内閣府「新型コロナウイルス感染症が地域の働き方や生活意識に与えた影響に関する調査」(2021年1月15日～20日)
(出所) 経済産業省「産業構造審議会経済産業政策新機軸部会(第20回) 資料5 少子化対策に資する地域の包括的成長について」(2024年2月20日)
(注) 1. 「今回の感染症の影響によって、移住についての関心に変化はありましたか。」と尋ねた質問に対して、「関心が高くなった」あるいは「やや高くなった」と回答した者が集計対象。このうち、東京圏の居住者を集計している。
2. 複数回答のため、合計は必ずしも100%にならない。

設問

問1 図1から読み取れることについて、200字以内で書きなさい。

問2 図1と図2を踏まえて、人材獲得における地方圏の競争力を高めていくために、どのような取り組みが必要か、あなたの考えを250字以内で書きなさい。

- 3 -

- 4 -

⑨情報学部 学校推薦型選抜 小論文試験問題

問題1 次の文章は『朝日新聞デジタル（2023年9月29日配信）』からの引用である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

マスク氏らが目指すAGIの世界とは AIに備わりつつある「直感」

AI（人工知能）が本当に人間並みの心を持てるのか。
1947年に英数学者アラン・チューリングが「考える機械」という概念を提唱して以降、AIやロボットにも意識や心が宿るか、宿せるのかといった研究が積み重ねられてきた。
AIの心や意識について確立した定義はない。しかし、元グーグルでAI開発に携わっていたエンジニア、ブレイク・ルモインさんが昨年「AIに意識がある」と主張したことを受けて、世界中で議論が活発化している。
豪哲学者のデイビッド・チャーマーズさんは、「物事を考えたり、痛いと感じたりする主観的な経験」が、AIなどにも「意識がある」とみなせる指標になるのではないかと提唱している。
元日本ロボット学会会長の浅田稔・大阪国際工科専門職大学副学長によれば、AIが心を持つには、ロボットのように体を持ち、人間の五感に相当するような、見たもの、聞いたもの、触ったものなどを感じる「外受容」や、のどの渇きや空腹など体の状態を実感する「内受容」と呼ばれる感覚が伴う必要があると考えられてきたという。
これに対し、ChatGPT（チャットGPT）など現状の対話型AIや大規模言語モデルは、文章を大量に読み込む学習を繰り返すことで返答の精度を上げている。自然な会話はできても、人間の質問に対して続く確率が高い単語を並べているだけだ。
必須と考えられてきた身体性は持たず、ごく一面的な機能しか持っていないことになる。
それでも、浅田さんはチャットGPTの登場で、「体の感覚が必要、という前提がゆらぐほど、心の機能が備わったような振る舞いができるようになった。大変驚いた」と評する。
「AIが感情のようなものを持っていないと、どうして言えるのか、という段階にきた」
どうしてチャットGPTは高度な振る舞いができるようになったのか。
こうした原理説明が研究対象にもなっている。（以下、省略）

「朝日新聞社に無断で転載することを禁じる」
「承諾番号 25-0917」

設 問

問1 下線部の前提について、具体的に述べている箇所を引用しつつ、どのようなことが前提と考えられてきたのか140字以内で述べなさい。

問2 チャットGPTの登場で、その前提がゆらぐほどの驚きがあったという。驚きを感じた理由を考えて、160字以内で述べなさい。

1

⑩情報学部 一般選抜前期日程 小論文試験問題

問題1 次の文章は『読売新聞（2024年7月5日 朝刊）』からの引用（一部抜粋・一部改変）である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

水害リスク実感 早期避難促す

「見慣れた風景がどんどん水没していく中、切迫感を持って避難を体験してもらえます」。大阪大学の福田知弘准教授（環境設計情報学）の研究室で、刻一刻と変化する大雨時の浸水の様子をスマートフォン画面上で疑似体験できるシステムを見せてもらった。
拡張現実（AR）の技術を使い、浸水予測の結果を現実の風景に重ね合わせるシステムで、福田准教授らのチームが開発した。
利用者が街中でスマホのカメラをかざせば、位置情報などに基づいて周辺の水位が表示され、時間経過に伴って浸水の範囲や水位が変化する。水面の色の違いで水流の速さも実感できる。
大阪府摂津市の市街地が、1時間で最大60ミリという非常に激しい雨に見舞われた想定では、降り始めから1時間50分後に淀川の堤防が決壊。水位は一気に約3.5メートルに達し、11時間40分後には2階建ての建物が完全に水没した。
その間、車や歩道橋などが次々と水の中に消え、避難開始のタイミングを誤れば、命は助からないかもと恐怖を感じた。
同様のシステムは、津波の避難支援アプリなどで実用化されているが、大雨を対象にしたものは珍しいという。
2018年7月の西日本豪雨では、避難すべき状況と認識した人のうち、実際に避難した人はわずか16%だったとの調査結果がある。気象情報会社「ウェザーニューズ」が、被災地などの8000人を対象に行ったアンケートで、避難開始を判断する難しさが浮き彫りとなった。
福田准教授は「ARを使った避難訓練を重ねれば、避難開始のタイミングやルートが適切か、実際の災害に近い形で検証できる」と強調する。
ただ西日本豪雨による河川の氾濫で51人（災害関連死を除く）が亡くなった岡山県倉敷市真備町では、9割近い犠牲者が高齢者だった。スマホの操作が苦手な高齢者でも訓練ができるように工夫を施し、関心を寄せる企業と協力して実用化を目指すという。（以下、省略）

設 問

問1 この文章で紹介されているAR技術を使ったシステムの機能と、その開発の目的を150字以内で説明しなさい。

問2 AR技術による避難訓練の利点と課題を考慮し、こういったAR技術を使ったシステムが効果的に普及するための方法、および、今後の災害対策にどのような影響を与えるか、あなたの考えを250字以内で述べなさい。

- 1 -

問題2 次の文章は『読売新聞（2024年7月21日朝刊）』からの引用（一部抜粋・一部改変）である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

「姿勢分析 見上げた力 〜トランポリン 課題を見抜く「目」〜」

社会に急速に普及する人工知能（AI）は、パリ五輪という世界最高峰の舞台に挑む選手たちにも欠かせない技術となっている。
5月下旬、五輪選手らの練習拠点になっている国のハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC、東京都北区）。
トランポリンの練習場では、日本代表のA選手が軽やかに宙を舞っていた。
A選手は練習を終えるやいなや、近くに置かれていたパソコンに向かった。画面に映るのは、AIによる姿勢分析の結果だ。撮影動画からA選手の骨格情報を捉え、跳躍の高さ、姿勢を変えたタイミング、身体の軌跡などがグラフや数値としてわずか数分で表示されていた。
「自分の演技の傾向や修正すべき点がばっと一目で分かる」。A選手はそう語る。
トランポリンは10回連続で跳んで技を披露し、①跳躍の高さ②姿勢の美しさ③技の難しさ④着地の正確さ――の合計点を競う。A選手は2021年の世界選手権銀メダリストで、パリ五輪では3回宙返り系の技を六つ組み込んだ高難度の演技に挑む予定だ。
世界トップレベルのA選手だが、「課題は跳躍の高さの不安定さ」と自己分析する。特に演技終盤は、疲労から跳躍が低くなる傾向がある。
跳躍は最高7メートル超にも及ぶが、1回あたりの時間はわずか2秒。その間、伸身や前屈、抱え込みなど、様々な動作を盛り込む。滞空時間が少ないと余裕がなくなり、ミスにつながる。
いかに体力を温存しながら跳び続けるか。求められるのは、無駄や力みのない動作だ。1センチ刻みで跳躍の高さをはじきだすAIは、技を精密に分析し、改善点をあぶり出す強い味方となる。「まずは1本目を意識し、高さのグラフの下がりを滑らかに保たないと」。A選手は、静かに闘志を燃やす。（以下、省略）

設 問

この文章にあるとおり、AIはスポーツ競技における選手のパフォーマンス向上に貢献している。AIの利用がスポーツ競技に与える影響について、技術的進歩による利点、および、考えられる課題を、あなたが関心のあるスポーツ競技における具体例を挙げながら300字以内で考察しなさい。

2

問題2 次の文章は『令和6年版 情報通信白書』からの引用（一部抜粋・一部改変）である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

生成AIによる経済効果

生成AIの登場により、我々の知的活動は大きく影響を受け、従来AIが適用しづらかった業務領域も含めて、コンテンツ制作、カスタマーサポート、建設分野等様々な業務領域での業務の変革が可能となる。「生成AIの出現は、恐らく人類史上有数の革命といっても過言ではない。企業がセキュリティ上のリスクを恐れて活用しないことこそが最大のリスクであり、むしろ自社が次の時代の生成AIファースト企業になるつもりでAI活用を進めていくべき」とも言われている。
2023年3月17日、OpenAIとペンシルバニア大学が発表した論文によれば、80%の労働者が、彼らの持つタスクのうち少なくとも10%が大規模言語モデルの影響を受け、そのうち19%の労働者は、50%のタスクで影響を受ける。なかでも高賃金の職業、参入障壁の高い業界（データ処理系、保険、出版、ファンドなど）では生成AIの影響が大きいと予測されている。一方で、生成AIによって大きなビジネス機会を引き出す可能性もある。ボストンコンサルティンググループの分析によると、生成AIの市場規模について、2027年に1,200億ドル規模になると予想されている。以下の表に示すように、最も大きな市場は「金融・銀行・保険」で、次に「ヘルスケア」、「コンシューマー」と続く。

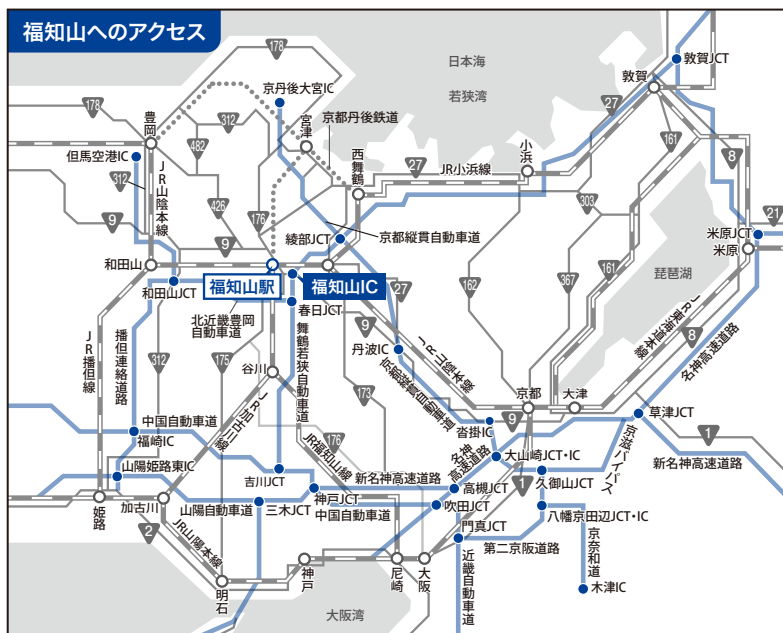
（単位：10億ドル）						
生成AI市場 （具体的な業界別）	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
ファイナンス （銀行・金融・保険）	2	4	8	15	23	32
コンシューマー （衣料・食品・家電）	2	3	6	11	15	21
ヘルスケア （医療・創薬・介護）	1	2	5	9	15	22
メディア （映画・ゲーム・報道）	2	3	5	9	12	16
公共セクター （福祉・治安・交通）	2	3	4	7	9	12
その他	2	3	6	10	14	19

設 問

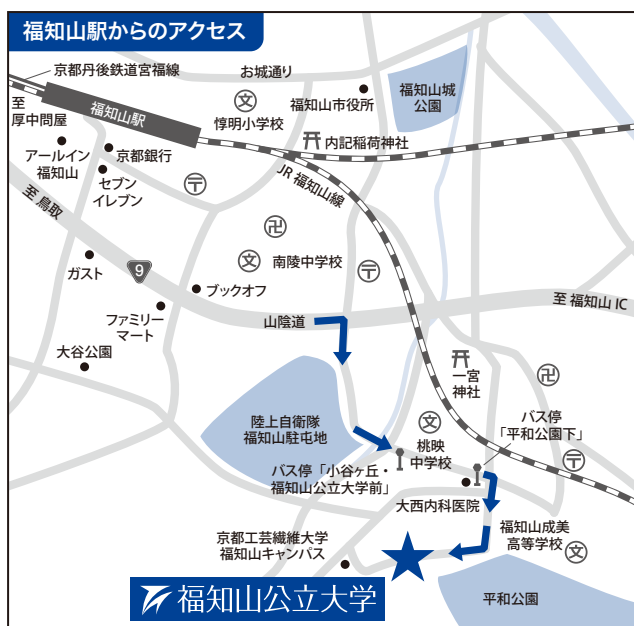
表を参照し、2027年において最も前年比成長率が高いと考えられる生成AIの市場は何か示すとともに前年比成長率を解答しなさい。また、表に挙げられている生成AIの市場から一つを選択し、その市場における生成AIの活用例とその場合に想定される社会への影響を250字以内で具体的に説明しなさい。

- 2 -

アクセス



- JR京都駅→福知山駅 最速75分
- JR大阪駅→福知山駅 最速91分
- 大阪なんば→福知山駅 107分(高速バス)
- 神戸三宮→福知山駅 90分(高速バス)



- 福知山駅北口より京都交通バス堀循環線にて「平和公園下」または「小谷ヶ丘・福知山公立大学前」下車、徒歩6分。
- 福知山駅南口よりタクシーにて5分。
- 徒歩にて30分。

SNS

各種SNSで、福知山公立大の「今」を発信中!



福知山公立大学 入試係

〒620-0886 京都府福知山市字堀3370 TEL 0773-24-7100 FAX 0773-24-7170
E-mail admission@fukuchiyama.ac.jp URL <https://www.fukuchiyama.ac.jp/>

